

## 高校2年生

### 1. 総論

# 沖縄学習を軸としたクロスカリキュラムの試み

山田 孝・丹下 容子  
原 順 子・滝口 恵子  
三島 徹・加藤 容子  
福谷 敏・高須 明

**【抄録】** 高校二年では、沖縄研究旅行の学習を中心に研究主題について取り組んだ。沖縄研究旅行までの事前学習と研究旅行後のチームティーチングによるクロスカリキュラムの試みである。ここでは、事後学習としての研究旅行後のクロスカリキュラムの取り組みを中心に報告する。

**【キーワード】** 合科 クロスカリキュラム チームティーチング

## はじめに

平成11年度（1999年度）の中等教育研究協議会における高等学校の研究主題は、「総合人間科の発展的展開—クロスカリキュラムへの発展」であった。高校では、「総合人間科」の成果を教科の授業にどうに生かすのか、その試みを教科の合科という形で公開授業の取り組みの中で行うことになった。

言うまでもなく、平成7年度より特設されている「総合人間科」の授業では、調査・研究・まとめ・発表の学習活動が生徒を主体として行われてきている。この中では、教師集団も教科の枠を越えて、合科やチームティーチングによる授業が実践されている。これまでに「総合人間科」の成果として、生徒の主体的な活動や調査・研究・発表能力、「生き方」についての意識の高まりが考えられている。これらの成果を、教科の授業の中にどのよう展開していくのが今回の研究主題である。

## 1. クロスカリキュラム—合科をどう考えるか

「総合人間科」の授業の中では、教師集団が教科の枠を越えて、今日的な課題について合科・総合化の授業を行っている。しかし、これが教科の授業の中ではどうかというと、「総合人間科」の成果が十分に生かされているというわけではない。この点については、教育学部の植田先生も指摘されている。「総合人間科の授業の中では生徒は生き生きしているが、教科の授業は依然として変わっていない。」ということである。この点の指摘を受けながら、今回の研究課題では「総合人間科」の手法を教科の授業の中で実践し、これを合

科とチームティーチング（TT）という形態で公開授業の中で取り組むことである。TTの取り組み自体は、これも「総合人間科」の授業の中で取り組み済みである。「総合人間科」の授業の中で培われてきた授業方法を教科の授業の中で、どのように発展させるか、また、合科の可能性も追求していくものである。「総合人間科」の授業自体が、総合化であり合科であるので、この発展としても教科の合科—クロスカリキュラムの試みとなる。

さらに、今後学校教育の中での授業時間数の削減が予想される。その場合、各教科間や教科内で重複した内容を精選して、基礎基本を重視した授業時間の確保を検討することになっていくと考えられる。この授業時間数確保の方法の一つとして、合科の授業の可能性を模索することも今回のねらいの一つとして考えられる。

## 2. 年間計画の中における公開授業の位置

沖縄学習を軸として、毎年行ってきた事前学習・事後学習に今回の研究課題をリンクさせることになった。沖縄学習自体が、総合化を必要とするものなので、研究課題の合科についても、比較的考えやすいものであった。ただ、現実的にどの教科とどの教科を合科するかは大変難しい問題であった。

研究協議会の公開授業を準備していくのだが、例年の学習計画の中に今回だけ特別に新しいプログラムを挿入していくことになる。公開授業の準備をするにあたって、例年のスケジュールを変更することにした。

さて、研究協議会を実施しない例年の年間計画は、以下のとおりである。

| 一学期                | 二学期   | 三学期                            |
|--------------------|---|--------------------------------|
| 沖縄学習の導入<br>事前学習その1 | 研究グループの組織<br>フィールドワークの準備<br>映画「月桃の花」<br>事前学習その2<br>沖縄研究旅行 | 研究報告会<br>報告書<br>まとめ<br>高1への説明会 |

沖縄研究旅行の事前学習その1として、一学期には「沖縄」学習の一つとして、プレ研究を実施した。このプレ研究では、沖縄について理解を深めると同時にグループでの学習方法を学ぶ場とした。教師も担当を決めて、それぞれのグループのサポートにあたった。

#### プレ研究のテーマ例

- ① 沖縄の自然 ② 基地問題 ③ 沖縄の食生活 ④ 沖縄の産業 ⑤ 沖縄の文化 ⑥ 沖縄戦

各クラスを6グループに分け、大テーマを割り振り班ごとに調査研究を行い、生徒による発表の授業を行った。生徒たちは、各班ごとに大テーマにあわせて独自の小テーマを設定して沖縄学習に取り組んだ。

事前学習その2では、11月の沖縄研究旅行でのフィールドワークに備えて研究グループを組織して調査研究に取り組んだ。沖縄のフィールドワークは、那覇から恩納村のホテルまでタクシーで移動しながら班の研究テーマについて調査研究するものである。研究の主体はあくまで生徒であり、生徒自身がフィールドワークを実施しながら学習をするものである。(訪問先と各班の研究テーマは資料参照)

こうした年間スケジュールがほぼ確定している中に、クロスカリキュラムの試みをどうはめ込むかが学年団が発足してからの中心的な課題であった。4月から二ヶ月の論議のすえ、6月には以下の方針が決定した。沖縄研究旅行のフィールドワークから3月の研究協議会まで同じ研究グループで取り組むこと。このため、研究グループも4グループとして公開授業を念頭に置いてフィールドワーク・グループ学習を実施することとした。例年は、研究グループは6グループで一人の教員が3つの班を担当していた。今回は、高校2年担任団の他に高須先生と丹下先生が協力メンバーとして参加することになっていた。このため、学年団は8人体制となり、TTを行うために4グループとなった。フィールドワークから合科の公開授業まで結びつけることとなったので、研究グループのテーマも合科を意識したテーマとなった。

研究グループとクロスカリキュラムの関係は以下の表にまとめた。

| 研究グループ    | 教科     | 担当    |
|-----------|--------|-------|
| ① 伝統と生活文化 | 美術+家庭科 | 滝口 原  |
| ② 命どう宝    | 国語+保健  | 三島 加藤 |
| ③ 自然・環境   | 理科+数学  | 福谷 高須 |
| ④ 国際理解    | 英語+日本史 | 山田 丹下 |

教科の組合せは、学年団での話し合いにより決定した。これは、フィールドワークから公開授業まで結びつけることができることを大前提として組合せを話し合った。この組合せは、ある意味では「意義」のある組み方であるが、必然的に合科の要求が生じてきたのではなく、話し合いの中から合科の可能性を追求したのである。合科の組合せの仕方については、今後さらに検討していく必要がある。

### 3. クロスカリキュラムの今後の課題について

このように、研究旅行以後は研究協議会の合科の公開授業に向けての授業を行うこととなった。このため、二学期の後半から3学期は例年の予定を大きく変更して、報告集作り・高校一年生への報告会も省略せざるを得なくなった。さらに、研究旅行から合科の授業への関連がうまく整理されていない、または、整理することができなかつたので合科の授業までの流れが「異質」なものとなってしまった。この点については、各論の中でも述べられていることと思う。合科の試み自体がはじめてのことであり、「総合人間科」と沖縄研究旅行の一連の学習の中に公開授業を位置づけてしまったことにより、いわゆる「木に竹を接ぐ」というような状況になってしまった。

しかし、だからといって合科の取り組みが無意味であったかという決してそうではない。限られた時間の中で、準備不足とはいえ教師や生徒にとっても「刺激的」な授業となった。教師自身も授業の先の展開が読めない(総合人間科でもはじめて当初はそうであった)という不安感もあったが、それを上回って授業自体の中いくつかの発見があった。合科の授業、TTの授業も何と楽しいことか。というのが率直な感想で

ある。普段は見ることのできない他教科の授業を見ることができた。また、「授業」でありながら生徒の活躍する場面も多く生徒も意欲的に授業に参加すること

ができた。この点については、各論—それぞれの報告の中で詳しく報告されている。

99年度 高校2年 沖縄研究旅行フィールドワーク訪問先

1999. 11. 15最終版

|    | クラス | 研究テーマ          | 訪問先午前  | 午後  | 備考 |
|----|-----|----------------|--|---|----|
| 1  | A-1 | 伝統工芸～琉球ガラスと紅型～ | 10:00～14:00<br>那覇伝統工芸館<br>那覇市当間1-1                           | 一日体験  | 後発 |
| 2  | A-2 | 海を中心とした自然と産業   | 10:00～11:00 新里さん<br>県庁魚政課 那覇市泉崎1-2-2                         | 13:00～14:00 宮里さん<br>牧志公設市場 那覇市西2-3-12               | 後発 |
| 3  | A-3 | 沖縄食文化          | 11:00～12:00<br>牧志公設 松本料理学院<br>那覇市泉崎1-9-13                    | 14:00～14:30<br>動物検疫所沖縄支所<br>那覇市港2-11-1 港湾合同庁舎4階     | 後発 |
| 4  | A-4 | 沖縄サミットについて     | 10:00～12:00<br>玉泉洞王国村  | 13:00～14:30<br>県庁サミット対策課<br>那覇市泉崎 当真さん              | 先発 |
| 5  | A-5 | 沖縄の農業          | 9:00～10:00<br>県庁農林水産部 那覇市泉崎1-2-2<br>井波さん                     | 13:00～14:30<br>バイナッブルパーク<br>名護市為又1195 ウエツさん         | 先発 |
| 6  | A-6 | 沖縄の人々の心の支え     | 9:30～11:00<br>沖縄尚学高校 那覇市国場747<br>湯浅先生                        | 13:00～14:00<br>沖縄県文化振興会<br>那覇市東町1-1 財団法人沖縄文化振興会     | 後発 |
| 7  | B-2 | 学ぶ伝統           | 10:00～12:00<br>ガラス工房 燦<br>読谷村楚辺                              | 13:00～15:00<br>つるや食堂<br>金武町字金武47-5                  | 先発 |
| 8  | B-1 | 美しきもの          | 9:15～9:50 10:50～14:00<br>バイナッブルハウス 琉球村<br>藍染め教室              | 14:10～15:30<br>共栄ガラス 琉球ガラスコップ作り<br>恩納村字富着85         | 後発 |
| 9  | B-3 | 沖縄の人々と戦争       | 10:00～11:00<br>教育福祉会館教育文化資料センター<br>那覇市古島1-14-6 知念優子さん        | 15:00～15:30<br>佐喜真美術館 知花昌一さん<br>読谷村 自宅              | 後発 |
| 10 | B-4 | 沖縄の自然環境        | 10:00～11:00 098-895-8894<br>琉球大学理学部 上江田捷博教授<br>中頭郡西原町千原1番地   | 13:00～15:15 096-966-2276<br>石川里子さん宅<br>恩納村字谷茶23     | 先発 |
| 11 | B-5 | サンゴ礁を通して環境を考える | 10:00～10:50<br>水中観光船「なは」<br>那覇市前島3-25-1 琉球観光水産業              | 13:00～14:30<br>琉球大学理学部海洋自然科学学科<br>解析科学 大森保先生        | 後発 |
| 12 | B-6 | 国際理解－沖縄サミット    | 9:30～11:00<br>ふれあいプラザガジュマル 名護市大東1-11<br>名護サミット推進市民会議 トモリ     | 13:00～14:30<br>バイナッブルパーク<br>名護市為又1195               | 先発 |
| 13 | C-1 | 沖縄文化の特徴        | 9:30～11:00<br>城間紅型研究所<br>那覇市首里山川町                            | 13:30～15:30<br>窯元新興陶房<br>中頭郡西原町兼久151-4 新崎覚さん        | 先発 |
| 14 | C-2 | 琉球王朝について       | 9:00～10:30<br>県立博物館 那覇市首里大中町1-1                              | 11:00～13:00<br>陽明高校<br>浦添市字大平 新城先生                  | 先発 |
| 15 | C-3 | 命どう宝、国際理解と平和   | 9:00～10:00 二台に分かれて<br>佐喜真美術館 普天間高校・コザ校<br>098-893-5737 嘉手納高校 | 13:15～13:50<br>金武中学 辺野古の海<br>命を守る会事務所               | 先発 |
| 16 | C-4 | 沖縄の中の国際交流      | 9:00～10:00 11:00～12:00<br>佐喜真美術館 琉球村                         | 13:00～14:00<br>異文化間コミュニケーションセンター<br>宜野湾市長田76-5 小坂さん | 先発 |
| 17 | C-5 | 沖縄の産業          | 9:30～10:30 098-858-9000<br>バイナッブルハウス 牧志公設<br>那覇市鏡水684-1 中条さん | 12:30～14:00<br>玉泉洞王国村<br>玉城村字前川1336                 | 後発 |
| 18 | C-6 | サンゴについて        | 9:30～11:00<br>沖縄県庁文化環境部自然保護課<br>那覇市泉崎1-2-2 比嘉尚哉さん            | 14:00～14:45<br>日本サンゴセンター<br>那覇市西2-3-12              | 後発 |